TANYO SHINYO KINKO

半期 REPORT 2024

令和6年9月期

地元のみなさまとともに・・・

当金庫所蔵
作品名:「母と子」
作者名:アントワーヌ・ブールデル

“よろず相談所”
但陽信用金庫

よろず相談所《たんよう》は いつもお客様のそばに……

平素は、当金庫に対しまして何かとお心寄せを賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、安心してお取引をいただくために、2024年9月期決算や経営内容の一端について「半期REPORT2024」としてまとめさせていただきました。

お目通しいただき、《たんよう》のより一層のご理解と引き続きのご支援、ご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

但陽信用金庫と地域の絆

当金庫は、大正15年に但馬(朝来市生野町)にて創業。山陽地域にご縁を拡げ、昭和63年5月、東播磨の加古川市に本店を移転。南但馬を含めた兵庫県中南部を事業区域に、中小企業者や地域の住民による会員組織の金融機関として、相互扶助による「地域の発展」「豊かな暮らしの実現」を共通の理念としています。

地域のお客様からお預かりした大切な預金は、地域で資金を必要とされるお客様にご利用いただき、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として中小企業者や地域の住民の皆様との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めています。

また、金融サービス機能の提供にとどまらず、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標でもある「地域創生」への参画や文化・環境・福祉・教育・観光といった面も視野に、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。

地域貢献・地域活性化支援に関する取組状況

～ボランティアを始めて29年～
■「NPO法人 但陽ボランティアセンター」への人員派遣など、継続して取り組んでいる活動

当金庫は、阪神淡路大震災以降、29年間、ボランティア活動を継続しています。2000年1月以後は、ボランティアを目的に設立した「NPO法人 但陽ボランティアセンター」に、金庫から毎日数名の職員を派遣する形で、車いすを利用されている方々へのリフト付福祉車両による「移送サービス」等の支援活動を続けています。

そのほか、

- ・高齢者宅(約2,300軒)へのケア訪問
- ・職員向け「認知症サポーター養成講座」の開催、啓蒙活動への協力
- ・「認知症バリアフリー宣言」を公表
- ・「フードドライブ」、食品ロス削減活動への協力
- ・全店舗ATMコーナーへのAED配備と職員向け「普通救命講習」の継続開催
- ・「こども110番の店」への登録
- ・献血協力、骨髄バンクドナー登録会への協力

などの活動を継続しています。

「認知症バリアフリー宣言」のロゴマーク

■地域における地方創生事業への参画

当金庫は、地域の活性化や雇用の創出に向け、各地域が企画される新たな地域創生事業の創造を支援するとともに、当該事業への参画に積極的に取り組んでいます。

・福崎町に企業版ふるさと納税を行い「妖怪ベンチ」を設置しました

当金庫は、福崎町の観光振興に協力するため、「企業版ふるさと納税」を活用し、寄附を行いました。

2024年8月22日(木)、寄附金贈呈式が福崎町役場で執り行われ、感謝状を拝受しました。

寄附金は2016年から取り組まれている「妖怪ベンチ事業」に活用され、贈呈式後のお披露目式で、福崎支店に設置された妖怪ベンチ「砂かけ婆(ばばあ)」が披露されました。

福崎町は、町内の地域活性化と観光をさらに盛り上げてくれることを願い、22基の「妖怪ベンチ」を設置しています。

是非、ユニークな妖怪たちに会いに、福崎町をお訪ねください。

・生野支店・朝来支店・和田山支店に「社会貢献型自動販売機」を設置しました

南但馬警察署・朝来市から、「公益社団法人ひょうご被害者支援センター」への協力・支援の依頼があり、朝来市内3店舗に「社会貢献型自動販売機」を設置しました。

「社会貢献型自動販売機」は、販売代金の一部を「公益社団法人ひょうご被害者支援センター」に寄附する支援システムで、犯罪・性暴力被害、交通事故にあわれた方やその家族をサポートしていくための事業に活用されます。

但陽信用金庫は
犯罪被害者支援活動に貢献しています
この自動販売機の売上金の一部は、犯罪・性暴力被害や交通犯罪にあわれた方・ご遺族・ご家族の支援活動に使われます

中小企業の経営支援に関する取組状況

■お客様事業所の資金繰り支援

資源・仕入価格の変動等により、直接的・間接的に影響を受けておられる事業者および個人のお客様への相談に対応しています。

また、お借り入れ方法の変更、特に長期の分割返済で借入すべき設備対応資金や長期運転資金と、短期借入で対応すべき経常運転資金を見直し、**長期借入・短期借入の組み換えを行うことで、資金繰りの改善を支援**させていただいています。

状況変化への対応や課題の解決についても、お客様と一緒に考え、取り組みます。

当金庫が解決できない問題については、外部専門家にお取次ぎいたします。何なりとお近くの店舗・担当者にご相談ください。

【相談窓口】：当金庫各店舗　・本部フリーダイヤル：0120-200-707

■「知的資産経営」支援

「知的資産」とは、バランスシートに記載されている資産以外の、形や計数で表すことができない資産（経営理念・人材・技術力・組織力・ネットワークなど）を指しており、これらを自社の強みとして経営者と社員が共有し、経営資源として有効に活用することにより自社の価値向上に結び付けることを「知的資産経営」といいます。

当金庫は、2009年度から「知的資産経営」支援への取組みを毎年継続しています。

今年度は5月に「朝来」「姫路」会場で「知的資産経営支援セミナー」を、6～10月に「経営デザインシート作成セミナー」（4回コース）を開催。当金庫の支店長及び渉外担当者が参加事業所の伴走支援をしています。

また、「加古川」「神崎」会場においても、同様の取組みを9月から開催しています。

［経営デザインシート作成セミナー］

スマホで詳しく!　《たんよう》の「知的資産経営」支援について、詳細をスマホでご案内しています。→

■“希望の商い・ワクワク系”実践と伴走支援

［ワクワク系実践講座］

当金庫は、オラクルひと・しくみ研究所の代表者、小阪裕司氏の“商いの理論と実践手法”「ワクワク系マーケティング」のセミナーを開催しています。

全都道府県及び海外の約1,500社で取り組まれている「ワクワク系マーケティング実践会」においては、人の「感性」と「行動」を軸に「動機づけ」と「絆づくり」を二本柱とした商いの考え方と実践手法を、参加事業者自らの商いの場で実践・計測することで、「楽しく仕事ができるビジネスモデル」を築く取組みを行っています。

今年度も「ワクワク系」入門講演に続く実践講座（2024年6月～11月にかけて4回コース）を対面にて開催、当金庫の渉外担当者が実践講座に同席するとともに、その後も参加事業者様を継続して訪問し伴走支援に努めさせていただいています。

■お取引先の補助金申請支援

2013年4月の取組み開始から2024年9月末までに714件の申請に取り組み、うち320件（補助金等合計額54億67万円）が採択されました。

補助金等の種類	採択件数
ものづくり・商業・サービス補助金	185件
創業関連補助金	18件
新商品・新サービスの開発支援事業補助金	1件
小規模事業者活性化補助金	4件
事業再構築補助金	112件
合　計	320件

（2024年9月末現在）

※各表・グラフの記載計数で「−」は、該当計数がないことを表示しています。
※各表・グラフの記載計数で「0」は、該当計数があるものの、単位未満であることを表示しています。
※各表・グラフの記載計数は、単位未満を切り捨てて表示しています。

預金・貸出金などの状況

■預金・積金残高の推移

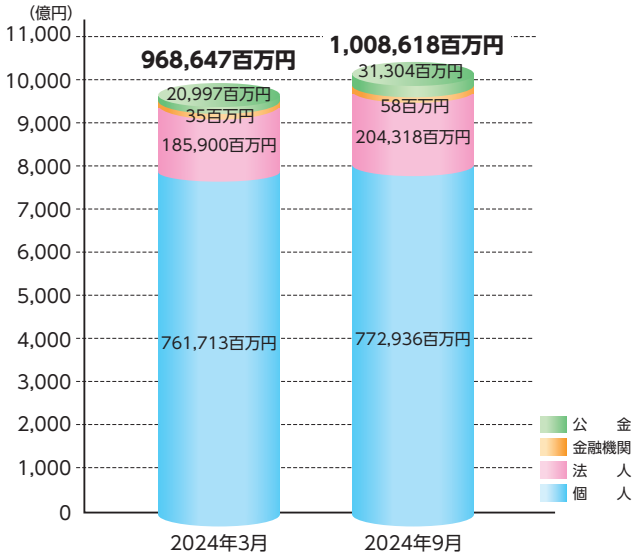
預金・積金残高は、伸展するキャッシュレス化への対応や、エリア内世帯並びに事業所先への「間口拡大」と「メイン化推進」施策により、口座の活性化に取り組み、流動性預金の増強に努めた結果、個人預金・法人預金ともに増加が図れ、**1兆86億円**(期初比399億円、4.12%増)となりました。

■貸出金残高の推移

資源・仕入価格高騰や為替変動の影響を受けておられる事業者、個人のお客様から、あらゆる相談をお受けする「よろず相談所」の取組みを優先しました。その結果、貸出金は**3,568億円**(期初比151億円、4.44%増)となりました。

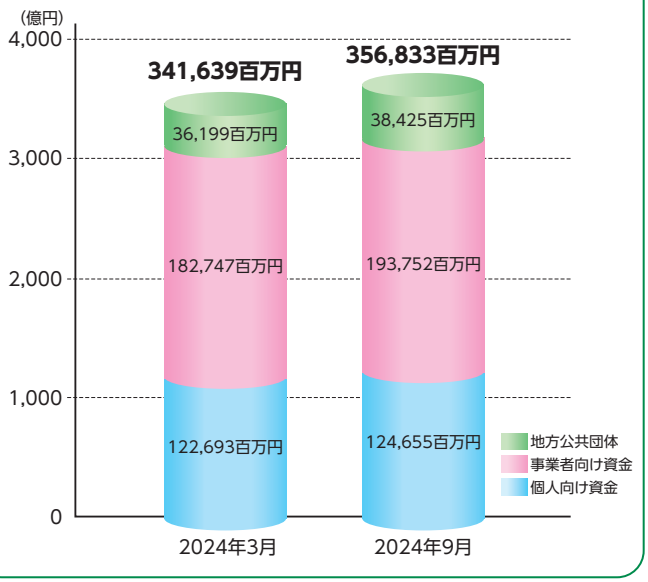
預金・積金残高(2024年9月)

1兆86億円



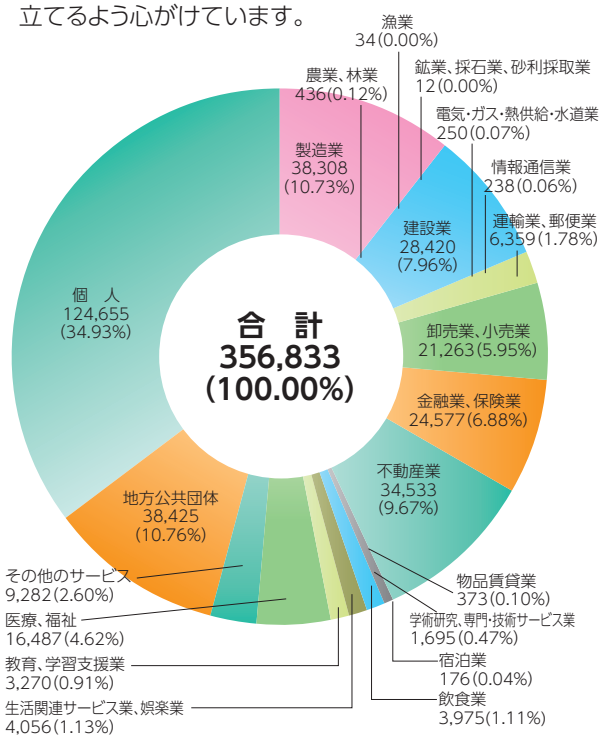
貸出金残高(2024年9月)

3,568億円



業種別貸出残高の内訳

特定業種に偏ることなく、地域の幅広い業種のお役に立てるよう心がけています。



(単位:百万円、%)

	2024年3月		2024年9月	
	残高	構成比	残高	構成比
製造業	34,665	10.14	**38,308**	**10.73**
農業、林業	412	0.12	**436**	**0.12**
漁業	36	0.01	**34**	**0.00**
鉱業、採石業、砂利採取業	12	0.00	**12**	**0.00**
建設業	29,137	8.52	**28,420**	**7.96**
電気・ガス・熱供給・水道業	256	0.07	**250**	**0.07**
情報通信業	254	0.07	**238**	**0.06**
運輸業、郵便業	6,586	1.92	**6,359**	**1.78**
卸売業、小売業	20,216	5.91	**21,263**	**5.95**
金融業、保険業	19,462	5.69	**24,577**	**6.88**
不動産業	34,275	10.03	**34,533**	**9.67**
物品賃貸業	276	0.08	**373**	**0.10**
学術研究、専門・技術サービス業	1,707	0.49	**1,695**	**0.47**
宿泊業	189	0.05	**176**	**0.04**
飲食業	3,564	1.04	**3,975**	**1.11**
生活関連サービス業、娯楽業	4,053	1.18	**4,056**	**1.13**
教育、学習支援業	2,805	0.82	**3,270**	**0.91**
医療、福祉	16,112	4.71	**16,487**	**4.62**
その他のサービス	8,718	2.55	**9,282**	**2.60**
小計	182,747	53.49	**193,752**	**54.29**
地方公共団体	36,199	10.59	**38,425**	**10.76**
個人	122,693	35.91	**124,655**	**34.93**
合計	341,639	100.00	**356,833**	**100.00**

有価証券運用の状況

有価証券運用残高は、**2,673億円**(期初比34億円、1.29%増)となり、預金・積金に対する有価証券の割合は、26.50%(期初比▲0.73ポイント)となりました。

有価証券運用については、安全第一を心掛ける一方で、リスク管理に留意しつつ、一定の収益確保に取り組んでいます。

(単位:百万円、%)

	2024年3月		2024年9月	
	残高	構成比	残高	構成比
国債	92,214	34.94	**92,760**	**34.70**
地方債	23,605	8.94	**27,124**	**10.14**
社債	48,214	18.27	**51,251**	**19.17**
株式	7,205	2.73	**6,280**	**2.34**
証券投資信託	20,304	7.69	**13,962**	**5.22**
外国証券	71,801	27.20	**75,445**	**28.22**
その他の証券	536	0.20	**486**	**0.18**
合計	263,882	100.00	**267,312**	**100.00**

有価証券の時価情報

■売買目的有価証券について、該当する取引はありません。

■満期保有目的の債券

(単位:百万円)

		2024年3月			2024年9月		
		貸借対照表計上額(帳簿価格)	時価	差額	貸借対照表計上額(帳簿価格)	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	−	−	−	−	−	−
	地方債	4,738	4,832	94	**5,466**	**5,553**	**87**
	社債	1,266	1,306	40	**1,243**	**1,273**	**29**
	外国証券	1,417	1,487	69	**1,415**	**1,460**	**44**
	小計	7,421	7,626	204	**8,126**	**8,287**	**161**
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	−	−	−	−	−	−
	地方債	4,414	4,351	△63	**7,720**	**7,592**	**△127**
	社債	390	387	△3	**391**	**382**	**△8**
	外国証券	1,179	1,156	△23	**1,179**	**1,146**	**△32**
	小計	5,985	5,895	△89	**9,290**	**9,121**	**△169**
合計		13,407	13,521	114	**17,416**	**17,408**	**△7**

(注)1.時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
2.市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

■その他有価証券

(単位:百万円)

		2024年3月			2024年9月		
		貸借対照表計上額(時価)	取得原価	差額	貸借対照表計上額(時価)	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	6,195	4,449	1,746	**4,068**	**3,095**	**973**
	債券	50,110	48,589	1,520	**53,096**	**51,786**	**1,309**
	国債	29,712	28,480	1,231	**32,345**	**31,354**	**991**
	地方債	6,679	6,570	108	**5,614**	**5,537**	**77**
	社債	13,718	13,538	180	**15,136**	**14,894**	**241**
	外国証券	11,324	10,604	720	**13,164**	**12,570**	**593**
	その他	4,094	3,647	447	**2,644**	**2,396**	**248**
	小計	71,725	67,290	4,435	**72,974**	**69,848**	**3,125**
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	920	1,022	△102	**2,121**	**2,430**	**△308**
	債券	103,114	114,884	△11,769	**103,218**	**117,387**	**△14,169**
	国債	62,501	72,336	△9,835	**60,415**	**72,385**	**△11,970**
	地方債	7,773	8,606	△832	**8,322**	**9,308**	**△985**
	社債	32,838	33,940	△1,101	**34,480**	**35,693**	**△1,212**
	外国証券	57,879	61,655	△3,775	**59,686**	**63,180**	**△3,494**
	その他	16,873	18,996	△2,123	**11,910**	**13,241**	**△1,330**
	小計	178,787	196,558	△17,771	**176,937**	**196,240**	**△19,302**
合計		250,513	263,848	△13,335	**249,911**	**266,088**	**△16,177**

(注)1.貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
2.上記の「その他」は、投資信託及び買入金銭債権等です。
3.市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

損益の状況

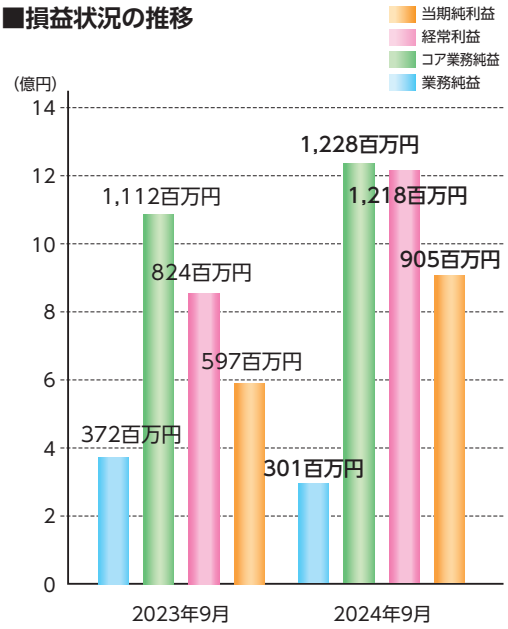
安定的な物価上昇を視野に、政府・日銀が「物価と賃金の好循環」の達成を目標として金融政策の正常化に舵を切ったことから、市場金利が上昇に転じました。このような金融環境の下、有価証券利息収入、預け金利息収入が増加するとともに、事業所への本業支援・経営改善支援、個人のお客様への生活設計支援に取り組み、業容の拡大が図れ、貸出金利息収入も増加しました。

業務純益は301百万円(前年同月比▲71百万円、▲19.08%減)、経常利益は1,218百万円(同393百万円、47.69%増)、当期純利益は905百万円(同307百万円、51.41%増)となり、本業の取組みを示すコア業務純益も1,228百万円(同116百万円、10.46%増)と昨年実績を上回りました。

(単位:百万円)

	2023年9月	2024年9月	増減
業務純益	372	**301**	▲71
実質業務純益	414	**301**	▲113
コア業務純益	1,112	**1,228**	116
コア業務純益(投資信託解約損益を除く)	1,112	**1,194**	82
経常利益	824	**1,218**	393
当期純利益	597	**905**	307

■損益状況の推移



自己資本の充実の状況

■自己資本比率(単体)

貸出金や預け金のリスクアセットが増加し、その増加率が自己資本の増加率を上回りました。2024年9月期の自己資本比率は15.11%(期初比▲0.56ポイント)となりましたが、依然として国内基準4%・国際基準8%を上回る水準を維持し、経営の健全性・安全性を十分に保っています。

引き続き、適切なリスク管理の下、「よろず相談所の実践」による地域の皆様との対話に取り組み、お客様へのご融資と適切な資金運用を通じ、健全性の確保と収益性の向上に努めてまいります。

【当金庫の2024年9月期の自己資本比率(単体)】

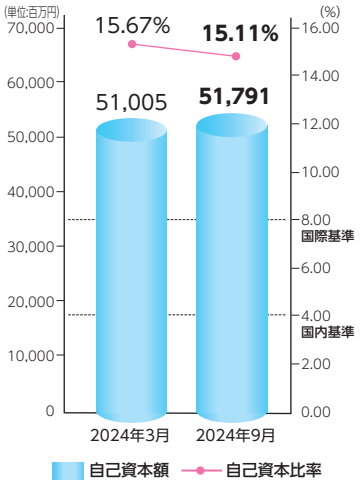
$$\text{単体自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額(コア資本に係る基礎項目の額52,516百万円−コア資本に係る調整項目の額725百万円)}}{\text{信用リスク・アセットの額の合計額325,851百万円+オペレーショナル・リスク相当額の合計額÷8\% 16,735百万円}} \times 100 = 15.11\%$$

■自己資本の構成に関する事項

(単位:百万円)

項　目	2024年3月	2024年9月
コア資本に係る基礎項目(1)		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	51,522	**52,430**
うち、出資金及び資本剰余金の額	1,065	**1,068**
うち、利益剰余金の額	50,520	**51,362**
うち、外部流出予定額(△)	63	**−**
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	171	**86**
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	171	**86**
コア資本に係る基礎項目の額… (イ)	51,693	**52,516**
コア資本に係る調整項目(2)		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	210	**180**
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	210	**180**
前払年金費用の額	477	**544**
コア資本に係る調整項目の額… (ロ)	688	**725**
自己資本		
自己資本の額((イ)−(ロ))… (ハ)	51,005	**51,791**
リスク・アセット等(3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	308,631	**325,851**
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	−	**−**
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	16,735	**16,735**
信用リスク・アセット調整額	−	**−**
オペレーショナル・リスク相当額調整額	−	**−**
リスク・アセット等の額の合計額… (ニ)	325,367	**342,587**
自己資本比率		
自己資本比率((ハ)／(ニ))	15.67%	**15.11%**

■自己資本比率と自己資本額の推移



(注)
自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。

なお、当金庫は国内基準を採用しております。

信用金庫法及び金融再生法に基づく債権の状況

（単位:百万円、%）

区　分		開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による回収見込額(c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b)／(a)	引当率 (d)／(a−c)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2024年3月	1,477	1,477	783	693	100.00	100.00
	2024年9月	**1,285**	**1,285**	**644**	**640**	**100.00**	**100.00**
危険債権	2024年3月	4,403	4,186	3,044	1,142	95.08	84.07
	2024年9月	**4,545**	**4,255**	**3,138**	**1,116**	**93.63**	**79.42**
要管理債権	2024年3月	698	401	391	10	57.44	3.27
	2024年9月	**772**	**441**	**430**	**10**	**57.09**	**2.96**
三月以上延滞債権	2024年3月	1	1	1	0	92.97	17.00
	2024年9月	**63**	**45**	**44**	**0**	**71.75**	**4.43**
貸出条件緩和債権	2024年3月	697	400	390	10	57.37	3.27
	2024年9月	**709**	**395**	**386**	**9**	**55.78**	**2.88**
小計(A)	2024年3月	6,579	6,065	4,219	1,845	92.19	78.22
	2024年9月	**6,603**	**5,982**	**4,214**	**1,767**	**90.60**	**74.01**
正常債権(B)	2024年3月	335,928					
	2024年9月	**351,101**					
総与信残高 (A)+(B)	2024年3月	342,508					
	2024年9月	**357,704**					

・上記開示債権について、担保・保証等による回収見込額には、決済確実な割引手形等を含めています。

・金融再生法上の不良債権比率＝ 金融再生法上の不良債権　6,603百万円 / 合計(総与信)357,704百万円 ×100=1.85%

※不良債権比率は単位未満を四捨五入して表示しています。

（注）

1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
3. 「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
4. 「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
5. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
6. 「正常債権」(B)とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。
7. 「担保・保証等による回収見込額」(c)は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
8. 「貸倒引当金」(d)には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。
9. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債（その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募（金融商品取引法第2条第3項）によるものに限る。）、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券（使用貸借又は賃貸借契約によるものに限る。）です。

■自己資本の充実度に関する事項（単体）

（単位:百万円）

	2024年3月		2024年9月	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスク・アセット、所要自己資本の額の合計	308,631	12,345	**325,851**	**13,034**
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	277,729	11,109	**297,870**	**11,914**
現金	−	−	**−**	**−**
ソブリン向け	726	29	**718**	**28**
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	73,736	2,949	**82,033**	**3,281**
法人等向け	67,310	2,692	**72,928**	**2,917**
中小企業等向け及び個人向け	50,950	2,038	**52,091**	**2,083**
抵当権付住宅ローン	6,141	245	**5,954**	**238**
不動産取得等事業向け	19,641	785	**21,692**	**867**
三月以上延滞等	355	14	**404**	**16**
取立未済手形	130	5	**87**	**3**
信用保証協会等による保証付	4,765	190	**5,099**	**203**
株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	−	−	**−**	**−**
出資等	9,569	382	**10,062**	**402**
出資等のエクスポージャー	9,569	382	**10,062**	**402**
重要な出資のエクスポージャー	−	−	**−**	**−**
上記以外	44,403	1,776	**46,798**	**1,871**
他の金融機関等の対象資本等調達手段のうち対象普通出資等及びその他外部TLAC関連調達手段に該当するもの以外のものに係るエクスポージャー	4,765	190	**4,765**	**190**
信用金庫連合会の対象普通出資等であってコア資本に係る調整項目の額に算入されなかった部分に係るエクスポージャー	4,768	190	**4,768**	**190**
特定項目のうち調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー	12,140	485	**14,010**	**560**
総株主等の議決権の百分の十を超える議決権を保有している他の金融機関等に係るその他外部TLAC関連調達手段に関するエクスポージャー	−	−	**−**	**−**
総株主等の議決権の百分の十を超える議決権を保有していない他の金融機関等に係るその他外部TLAC関連調達手段のうち、その他外部TLAC関連調達手段に係る5%基準額を上回る部分に係るエクスポージャー	−	−	**−**	**−**
上記以外のエクスポージャー	22,728	909	**23,253**	**930**
②証券化エクスポージャー	−	−	**−**	**−**
証券化 STC要件適用分	−	−	**−**	**−**
証券化 非STC要件適用分	−	−	**−**	**−**
再証券化	−	−	**−**	**−**
③リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー	30,902	1,236	**27,980**	**1,119**
ルック・スルー方式	30,902	1,236	**27,980**	**1,119**
マンデート方式	−	−	**−**	**−**
蓋然性方式(250%)	−	−	**−**	**−**
蓋然性方式(400%)	−	−	**−**	**−**
フォールバック方式(1250%)	−	−	**−**	**−**
④他の金融機関等の対象資本等調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置によりリスク・アセットの額に算入されなかったものの額	−	−	**−**	**−**
⑤CVAリスク相当額を8%で除して得た額	−	−	**−**	**−**
⑥中央清算機関関連エクスポージャー	0	0	**0**	**0**
ロ. オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	16,735	669	**16,735**	**669**
ハ. 単体総所要自己資本額（イ+ロ）	325,367	13,014	**342,587**	**13,703**

（注）1. 所要自己資本の額=リスク・アセット×4%（自己資本比率規制における国内基準）

2. 「エクスポージャー」とは、資産（派生商品取引によるものを除く）並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額等のことです。
3. 「ソブリン」とは、中央政府、中央銀行、地方公共団体、我が国の政府関係機関、土地開発公社、地方住宅供給公社、地方道路公社、外国の中央政府以外の公共部門（当該国内においてソブリン扱いになっているもの）、国際開発銀行、国際決済銀行、国際通貨基金、欧州中央銀行、欧州共同体のことです。
4. 「抵当権付住宅ローン」とは、住宅ローンの中で代表的なものとして、抵当権が第1順位かつ担保評価額が十分満たされているものを指します。
5. 「三月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「ソブリン向け」、「金融機関及び第一種金融商品取引業者向け」、「法人等向け」（「国際決済銀行等向け」を除く）においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。
6. 「上記以外」は、ポートフォリオごとの区分に分類することが困難なもので、主なものは仮払金、前払費用、固定資産、繰延税金資産等です。
7. 当金庫は「基礎的手法」によりオペレーショナル・リスク相当額を算定しています。

（オペレーショナル・リスク相当額（基礎的手法）の算定方法） 粗利益（直近3年間のうち正の値の合計額）×15% / 直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数

8. 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%

充実の店舗網（事務所の名称及び所在地）

あなたの街にあなたの《たんよう》

■但陽信用金庫の概要（2024年9月末現在）

- ■ 創　　業　1926(大正15)年6月10日
- ■ 本店所在地　兵庫県加古川市加古川町溝之口772番地
- ■ 会　員　数　32,662先
- ■ 出　資　金　10億68百万円
- ■ 預　　金　1兆86億円
- ■ 貸　出　金　3,568億円
- ■ 店　舗　数　34店舗、70出張所
  （他金庫幹事3出張所を含む）
- ■ 常勤役職員数　625名

本店

但陽美術館本館・別館

但陽美術館東館

店舗のご案内　（2024年11月末現在　34店舗）

●本　　店	加古川市加古川町溝之口772	☎(079)422-7721
●本店別館	加古川市加古川町平野367	☎(079)423-2300
●生野本部	朝来市生野町口銀谷511	☎(079)679-2253

東播磨・加西地区　（15店舗）

●本店営業部	加古川市加古川町溝之口772	☎(079)422-7711
●平野支店	加古川市加古川町平野367	☎(079)421-2721
●加古川東支店	加古川市平岡町新在家716-13	☎(079)425-4151
●土山支店	加古川市平岡町土山1203-1	☎(078)942-5851
●北野支店	加古川市野口町北野1139-3	☎(079)425-0373
●別府支店	加古川市別府町別府618-2	☎(079)437-3201
●神野支店	加古川市神野町西条416-1	☎(079)438-1003
●尾上支店	加古川市尾上町旭1-45-2	☎(079)422-5551
●高砂支店	高砂市米田町米田971-1	☎(079)431-6833
●高砂中央支店	高砂市高砂町栄町373-1	☎(079)443-3122
●高砂西支店	高砂市曽根町801-5	☎(079)447-1203
●大塩支店	高砂市北浜町西浜1208-50	☎(079)254-3432
●本荘支店	加古郡播磨町北本荘1-10-15	☎(079)435-2055
●稲美支店	加古郡稲美町国岡2-10-6	☎(079)492-3222
●加西支店	加西市北条町横尾381-7	☎(0790)43-1231

姫路地区　（12店舗）

●姫路支店	姫路市二階町111	☎(079)224-2171
●姫路南支店	姫路市東延末3-6	☎(079)285-3711
●姫路東支店	姫路市花田町加納原田917-1	☎(079)253-9210
●姫路北支店	姫路市御立西6-1-39	☎(079)293-2011
●姫路西支店	姫路市飾西640	☎(079)266-9231
●姫路灘支店	姫路市白浜町宇佐崎中1-37-3	☎(079)245-1011
●城西支店	姫路市土山3-7-30	☎(079)298-2201
●城北支店	姫路市増位本町1-1-9	☎(079)281-5421
●飾磨支店	姫路市飾磨区構2-19	☎(079)235-2300
●勝原支店	姫路市勝原区熊見77-3	☎(079)230-3111
●香呂支店	姫路市香寺町香呂3	☎(079)232-1011
●溝口支店	姫路市香寺町溝口555-4	☎(079)232-7715

朝来・神崎地区　（7店舗）

●生野支店	朝来市生野町口銀谷511	☎(079)679-2251
●和田山支店	朝来市和田山町枚田790	☎(079)672-5500
●朝来支店	朝来市新井128-1	☎(079)677-1121
●粟賀支店	神崎郡神河町粟賀町366	☎(0790)32-1121
●寺前支店	神崎郡神河町寺前219-3	☎(0790)34-1710
●甘地支店	神崎郡市川町甘地834-1	☎(0790)26-1121
●福崎支店	神崎郡福崎町西田原1403-1	☎(0790)22-1221

AED　※全店舗のATMコーナーにAEDを備え付けています。
※全店舗のATMコーナーは365日稼働。

子会社のご案内　（2024年11月末現在）

●但陽ビジネスサービス株式会社		
	加古川市加古川町平野367	☎(079)423-0231

出張所（店外ATM）のご案内　（2024年11月末現在　70出張所）

東播磨・加西地区　（35出張所）

- ○●加古川市役所出張所
- ●ヤマトヤシキ加古川店出張所
- ●ニッケパークタウン出張所
- ●加古川中央市民病院出張所
- ●マルアイ中津出張所
- ●マルアイ木村出張所
- ●マックスバリュ友沢出張所
- ●マックスバリュ今福出張所
- ●マルアイ南備後出張所
- ★●マックスバリュ安田出張所
- ●イオンタウン野口出張所
- ●マルアイ野口出張所
- ●東加古川駅前出張所
- ●マルアイ東加古川出張所
- ●イオンタウン東加古川出張所
- ●マルアイ城の宮出張所
- ●BiVi土山出張所
- ●マックスバリュ水足出張所
- ●加古川石守ショッピングタウン出張所
- ○●県立加古川医療センター出張所
- ●マルアイ本社・神野店出張所
- ●マルアイ八幡出張所
- ●アリオ加古川出張所
- ●マルアイ一色出張所
- ●マルアイ浜の宮出張所
- ●イオンタウン加古川西出張所
- ●コープ神吉出張所
- ●マックスバリュ宝殿出張所
- ●アスパ高砂出張所
- ○●高砂市役所出張所
- ●マルアイ伊保出張所
- ●コープ播磨出張所
- ●マルアイ六分一出張所
- ●マックスバリュ稲美出張所
- ●イオンモール加西北条出張所

姫路地区　（27出張所）

- ●マックスバリュ溝口出張所
- ●マックスバリュ豊富出張所
- ●姫路聖マリア病院出張所
- ★●コープ砥堀出張所
- ●イオン姫路出張所
- ●マルアイ広峰出張所
- ●マルアイ アンビック出張所
- ●マックスバリュ宮西出張所
- ●山陽姫路駅出張所
- ★●コープ田寺出張所
- ●マックスバリュ安室出張所
- ●マックスバリュ書写出張所
- ●マックスバリュ町田出張所
- ●マックスバリュ青山出張所
- ●ヤマダストアー新青山出張所
- ★●姫路赤十字病院出張所
- ●マックスバリュ西今宿出張所
- ●マックスバリュ岡田出張所
- ●姫路亀山出張所
- ●マックスバリュ英賀保出張所
- ★●イオンモール姫路大津出張所
- ●マルアイ広畑出張所
- ●マルナカ広畑出張所
- ●ヤマダストアー花田出張所
- ●イオンタウン姫路別所出張所
- ●マックスバリュ東山出張所
- ●的形出張所

朝来・神崎地区　（8出張所）

- ●朝来市役所出張所
- ●エスタ和田山出張所
- ●フレッシュバザール和田山玉置出張所
- ●山東出張所
- ○●公立神崎総合病院出張所
- ●マックスバリュ市川出張所
- ●ライフ福崎出張所
- ●JR福崎駅出張所

※1.○は平日のみの稼働。その他の出張所は原則、365日稼働しますが、設置施設の休業日等には稼働しない場合もあります。
※2.★は他金庫との共同設置出張所のため、通帳での取引ができない出張所で、ご利用日・時間帯によっては、手数料が必要になる場合があります。

“よろず相談所” 但陽信用金庫
〒675-0064 加古川市加古川町溝之口772
電話（079）422-7721（代）
https://www.tanyo-shinkin.co.jp
0120(200)707

PRINTED WITH SOY INK　R100 古紙配合率100%の再生紙を使用しています。　UD FONT